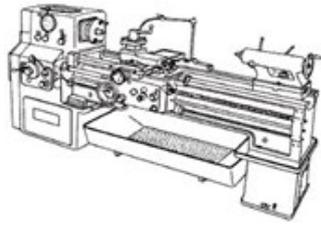
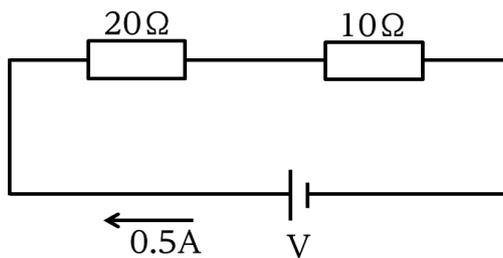


1 下図に示す工作機械は、ボール盤である。



2 フライス盤とは、平面削りや溝削りなどの加工を行う工作機械である。

3 下図に示す回路の電圧Vは、15Vである。



4 三相誘導電動機は、3本の電源線のうち、いずれかの2本の接続を入れ替えると回転方向が逆になる。

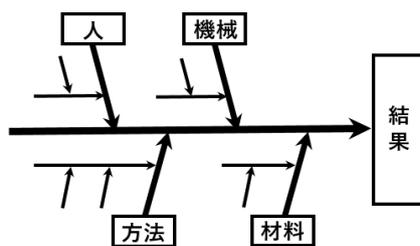
5 事後保全は、計画的に設備を停止して、分解・点検・整備をする保全方式である。

6 バスタブ曲線は、時間経過による機械や装置の故障率の変化を表すグラフである。

7 二次故障は、他の設備の故障などによって、引き起こされる故障である。

8 設備履歴簿には、設備の故障の内容や、修理に要した費用などの記録を残す。

9 品質管理において、下記に示す図は、特性要因図である。



10 作業標準書とは、作業者が作業にかかった時間を、作業のたびに記入するものである。

- 11 アルミニウムは、銅より熱伝導率が高い。
- 12 合金鋼は、鉄に炭素と合金元素を加えたものである。
- 13 鋼の熱処理の例として、塗装やめっきなどが挙げられる。
- 14 労働災害とは、労働者の就業に係る建設物や設備などにより、または作業行動その他の業務に起因して、労働者が負傷し、疾病にかかり、または死亡することをいう。
- 15 5Sにおける整理とは、必要なものを必要なときにすぐに使用できるように、決められた場所に準備しておくことである。

- 16 ねじのピッチとは、ねじを1回転させたときに、ねじが軸方向に動く距離のことである。
- 17 平歯車は、2つの歯車の軸が平行となる。
- 18 測定範囲が0～25mmの外側マイクロメータを保管するときは、アンビルとスピンドルの間にすき間を空けておく。
- 19 軸受に発生する腐食の原因の1つとして、使用時の過大荷重が挙げられる。
- 20 潤滑油の粘度が低いほど、油膜が切れにくくなる。
- 21 アーク溶接とは、アーク放電の熱で母材と溶加材を溶かして繋ぎ合わせる溶接方法である。
- 22 ダイスは、おねじの加工に用いる切削工具である。
- 23 非破壊検査とは、物を壊すことなくその欠陥や劣化の状況を調べ出す検査のことである。
- 24 一般的に、油圧は空気圧に比べて、精密な速度制御が困難である。
- 25 油圧バルブのうち、圧力制御弁には、リリーフ弁やアンロード弁などがある。
- 26 作動油が白濁する原因として、水分の減少が考えられる。
- 27 セラミックスとは、人為的な処理によって製造された非金属・無機質の固体材料である。
- 28 ショットピーニングは、金属の表面層に球形に近い硬質粒子を高速度で打ち当てることによって、表面を加工硬化させる加工法である。
- 29 ばねが自然長から伸び縮みする長さは、弾性力の大きさに比例する。
- 30 JISにおいて、図面のピッチ線を描くには、細い破線を用いる。